

HEART to HEART



令和4年3月9日(水)発行

あたたかな日差しに心地よさを感じる季節となりました。2月、3月の会話科「ことばの時間」や外国語活動・外国語科に関する活動について紹介します。

海外とオンラインでつながった交流活動

2月15日、3～6年生の児童が、マレーシアサラワク州にある「ロジナショナルプライマリースクール」と、英語を使って文化交流を行いました。本校の英語教育に助言をいただいている宇都宮大学が仲介となり、初めて海外の学校とオンラインで交流する活動です。



1月から本格的に準備を始め、事前に児童の自己紹介動画を送りました。これまで外国語活動・外国語科で学んできた言い方を使って日本について伝えようと、それぞれの学年が趣向を凝らしました。

3年生は「好きなものを伝える」学習で、日本で人気のアニメについて写真を使いながら紹介しました。4年生は「日本の生活習慣」について、ランドセルや上履きなど、実物を見せながら日本特有の部分に焦点を当てて紹介しました。5年生は「日本の学校で学ぶ教科」について、好きな教科ランキングを発表したり、音楽の授業で学習した「ルパン三世のテーマ」を実際にリコーダーや鍵盤ハーモニカを使って演奏したりしました。マレーシアの学校では使われない楽器のようで、鍵盤ハーモニカについて、「なんという名前か」という質問が出ました。6年生は、「日本の伝統文化」について紹介しました。夢育劇場で使用した衣装を着て、着物や侍について説明したり、修学旅行で訪れた日光東照宮についてクイズを交えて発表したりと、これまでの学びを生かして日本について紹介することができました。最後に、ロッジスクールからも歌やダンスの発表があり、5、6年生は動画に合わせてダンスを楽しみました。

実際に英語を生活言語としている国の子どもたちと交流することで、相手意識をもって伝えることの重要性を学ぶことや、英語を学ぶ意欲を高めることができました。児童の振り返りには、「楽しかった」、「英語をたくさん使って日本文化を伝えられた」という意見が出されました。

5、6年生の交流部分については、3月7日～13日の期間中、宇都宮ケーブルテレビ内の番組「10分間あなたにあげます」で放送されています。初回9:15～1日7回リピート放送されるそうです。機会がありましたら、ご覧ください。



きよきたふれあい楽習(4年ことばの時間)

4年生は、きよきたふれあい楽習で「伝え合う楽しさ」(ことばの時間)を行いました。

1回目の2月14日は、「サイコロトーキング」でサイコロの出た目の話題について、話をしました。「できるようになったこと」や「願いが一つかなうなら」など普段会話しない話題についてグループを変えて話す活動を通して、「4年間一緒だったけど、知らないことがあった」と、友達の新たな一面を知ることができました。

2回目の2月22日は1回目の振り返りをもとに話す・聞くポイントをさらに意識して「サイコロトーキング」をしました。自分たちで考えた話題の「旅行に行くならどこ?」や「タイムマシーンがあったらいつの時代に行く?」などのユニークなテーマについて話しました。今回は、「話す人は理由も付け加えて話すこと」「聞く人は、自分の考えと比べながら人の話を最後まで聞くこと」を意識してサイコロトーキングを楽しみました。振り返りでは、「自分の考えを比べながら聞き、質問することができた。」「話すときに理由も加えて、最後までしっかり話すことができた。」などの記述が見られました。

今回の学習で学んだことを普段の生活や授業の中でも活用して生活させようと思います。

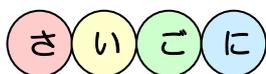


未来を語ろう(6年会話科「ことばの時間」)

6年生はこの時期、様々な教科で将来について考える学習を進めています。先日は、会話科「ことばの時間」で「未来を語ろう」の動画撮影を行いました。

外国語科では、将来の夢について英語で発表する単元があります。また、総合的な学習の時間の「夢実現教室」では自分の興味のある職業について調べ学習があります。そこで、自分が興味がある職業の仕事内容やその仕事に就くまでの過程、そのためにいま自分ができることなどを、「I want to be an astronaut.」などの学習した英語表現と日本語で発表しました。相手に伝えるための工夫として、間の取り方、声の大きさ、聞き手を見るなど、これまで

会話科で学んできたことを生かして自分たちで発表のポイントを考え発表に臨みました。今年是一人一人動画を撮影し、Google クラウドに配信することで保護者の皆様にご覧いただけるようにしたため、普段以上の緊張感に包まれた発表となりました。内容や発表の仕方に発表者の個性や創意工夫が見られ、そのすばらしさに驚く姿が見られました。



令和3年度も感染症対策をしながらの活動となりましたが、様々な活動に取り組むことができました。ご理解・ご協力いただきありがとうございました。

